やまぐち半導体・蓄電池産業ネットワーク協議会　設立会議　意見交換要旨

＜誘致・投資促進＞

・品質の面もあるが、納期の迅速性も企業競争力を高める重要な点である。２０２４年問題により物流面で不利になることが見込まれるので、まずは、県内で全工程を完結できる環境整備を進めるべき。

・蓄電池産業の競争は激化しており、海外の企業とは国等の支援を受けた上での価格競争を強いられている。日本においても同様の措置が取られれば、更に投資は進むと思う。

・CO_2 削減、エネルギーコスト削減の観点から、県において低炭素電力が確保されれば、企業の投資意欲が上がるのでは。

・高まる品質要求に対して、現在の生産基盤の維持についても、投資が必要となる。既存の生産拠点に係る支援も必要だ。

＜研究開発・事業化＞

・半導体関係では、加速度的に品質要求が高くなってきている。これに対応するための技術開発への支援が必要だ。

・研究に対する助成では、産学の連携が条件となるものも多くなっており、連携の取組みが重要となる。

＜人材の育成・確保＞

・特に人材確保、サプライチェーンの強靭化については、前進することを期待している。

・業務拡張（人員増）に伴い、通勤による交通渋滞が近隣住民との問題になっている。

・人材育成以前に人材の確保さえ困難な状況になっている。このことを認識いただいて取り組みを進めてもらいたい。

・協議会の取組みを通じ、関連産業に取組む企業の知名度向上を図ってもらいたい。

・制御工学・データサイエンスの分野の人材育成が重要となる。

・多様性の面で、女性理系人材の育成・輩出ということも魅力になるのでは。

・人材育成・確保については、学生・企業の双方にとってインターンシップが有用であり、これを積極的に推進していくべき。